服裝語彙分類案

柳田國男

青空文庫

一、晴着、よそ行き

最初晴着をどういふ場合にこしらへ、又如何なる場合に是非着たかを、注意してかゝる必要がある。現在行はれて居るものは形が皆新らしく、是によつて經過を察することは六つかしい。晴着を着る時は多くなつて來て居る。始めて用意した際の目的に、重きを置くのが至當である。

二、ふだん着

田舍では不斷には是を着ないから別の名がある。是を着るのは雨の日か夜か。とにかく外見をかまはぬ場合が多く、從つて之を見ると實際の内の要求のどこに在つたかゞわかる。

三、仕事着

勞働の種類及び態樣の、如何に變つて來たかは仕事着からも見て行かれる。それが又今日の普通のキモノと大いに變つて居る點でもある。

四、筒袖と卷袖

この以前にもう一つ廣袖の半袖があつた。それが筒となり次にモヂリとなつたのには、我々の生き方の發達が原因をなして居る。古い仕事着の形も現在はまだ根こそぎには無くなつて居ない。

五、袖無しと背負ひ

この古くからあつた衣服を、色々と工夫し改良して來た歷史は、細かく各地の例を比較して行くとやゝ明かになる。

六、長着物と寢具

常民の休息といふことが、この現象から少しづゝ考へられる。是を着て居る期間に世の中は段々に變つて行つたやうである。

七、身支度の簡易化

急いで仕事をしたり止めたりする者が多くなつて、仕事着の不便が感じられ始めた。今日の割烹着が生れるまでに我々はまだ色々の試みをして居る。襷が晴着から仕事用に轉落した。

八、袴の種類と變化

袴に不斷着と近いものが出來て、元は一つのものとは思はれぬ程に外形の變化が區々になつた。都市に全く用ゐぬ人が多くなつて、此問題は不當に看過せられて居る。各地の實狀を詳しく記述して置く必要がある。

九、前掛と下物

女が改良した男袴を共用するやうになつて、在來の女袴は追々に廢れたやうである。が、今でもまだ名なり形なりが限地的には殘つて居る。内外二種の裳があつて、其上に更に前掛腰卷の類があつたのが、三者は可なり混同して居るやうに思はれる。今の名稱は多くは當らぬものでも、歷史だけは推測せしめる。

一〇、帶紐の類

帶はどういふ經路を通つて、今日のやうな奇怪なる形狀に變じて來たか。多くの現實の例から推すと、是にも突如たる發明は一つも無かつたやうである。

一一、子負帶など

小兒の爲に特に古い生活樣式の取殘されてある場合が認められる。國の南北の子負ひ帶などが其一つの例である。

一二、衣服の着こなし

人の笑つたりいやがつたりする身なりを集めて見ると、以前の生活標準が可なりよくわかる。昔の人は我々よりも遙かに外形に敏感

であつた。

一三、衣服管理

　箪笥といふものが出來るまで、衣紋竿といふものが普及するまでの狀況。麻の衣は長持ちがする故に、洗濯や保存の技術が、今日よりも重要であつた。

青空文庫情報

底本：「定本柳田國男集　第二十九巻」筑摩書房
　　1964（昭和39）年5月25日発行
初出：「民間傳承三巻六號、七號」
　　1938（昭和13）年2月、3月
入力：フクポー
校正：津村田悟
2019年12月27日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

服装語彙分類案

柳田國男

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/